

## 「市民が選ぶ霜降山系樹木7選」を決定

NPO法人霜降会(矢野洋司会長)

宇部市民の山・霜降山は、幾たびかの山火事で樹木の大半が消失するという忌まわしい歴史がありました。その後、市民植樹祭や霜降山のみどりを楽しむ集いなど、市民による植樹活動で再生を果たしました。今では130種を超える樹木が繁茂し、市民の憩いの場になっています。

本会では貴重な里山林を守り育て、次世代に引き継ぐため、霜降山系にふさわしい樹木7種を選定し、シンボルツリーとして守り育てようという事業に着手しました。

選定作業は10月1カ月間、はがきや応募用紙、インターネットを使い、募集(1人7種類以内)しました。結果は宇部市 483 人をはじめ、山口市 28 人、山陽小野田市 26 人、下関市 4 人、防府市 2 人、美祢市、北九州市各 1 人の計 545 人からのべ 72 種類の樹種が寄せられました。

このほど末広雄次・元熱帯植物館副館長や高田義弘・環境省希少野生動植物種保存推進員ら専門家や宇部自然保護協会、宇部野鳥保護の会、宇部山岳会など自然保護活動団体メンバー、当会メンバーらで構成する選定委員会を開き、「市民が選ぶ霜降山系樹木7選」を決定しました。

市民が選ぶ霜降山系7選は次の通りです。

- ① イロハモミジ 296票
- ② オオシマザクラ 241票
- ③ ヤマザクラ 218票
- ④ ドウダンツツジ 213票
- ⑤ コバノミツバツツジ 204票
- ⑥ ヤブツバキ 202票
- ⑦ ネムノキ 148票

なお選考委員会では比較的大きくなる木や絶滅危惧種に指定されている樹木など、将来残すべき推薦木7種も選定しました。

- ① クスノキ
- ② コナラ
- ③ コジイ



- ④ ヌマスギ
- ⑤ トキワガキ
- ⑥ タブノキ
- ⑦ アカマツ

#### 矢野会長のコメント:

周知手段が限られていた上に、応募の受付期間も短く、どれだけの応募が集まるか心配されましたが、予想をはるかに超えた応募があり、市民の霜降山系に対する関心の高さに、改めて里山林の重要性を再確認したところです。

今回、「市民が選ぶ霜降山系7選樹木」「委員会推薦7選如木」が決まりましたので、今後はこれらの樹木の代表木を巡るルートづくりや、地図への落とし込み、当会ホームページへの紅葉便り・開花情報掲載等、より多くの市民が里山に親しめる環境づくりに努め、将来世代に継承していきたいと思っています。

注:霜降会は1998年5月、同山系の南の端のそびえる観音岳(167<sup>㍎</sup>)に約300<sup>㍎</sup>間のハイキング道整備をきっかけに、市街地から最も近い里山の自然を楽しみながら、山歩きの楽しさを広めようと、宇部山岳会やハイキング愛好者団体、自然保護関係者ら約20人で結成。同年6月から月1回の例会を実施。小羽山、中山観音、真締川ダム、厚東持世寺、厚東末信の5カ所を順番に出発地として、毎回30～80人の市民が参加、3、4時間の里山トレッキングを続けている。一昨年6月には、NPO法人化を果たし、山行のほか、自然保護活動なども積極的に展開している。来年夏には通算200回を数える。

今回のイベントは、市の「山とダムの環境を生かした地域活性化事業」に採択された事業の一環。8月3日に夏休み身近な自然観察会、10月5日に「霜降山系七選」巡り、12月7日に「白岩公園」整備を実施した。

本件についての問い合わせ先

矢野 洋司(電話080-1907-0160)